

# 小学校6年～高校1年<sup>想</sup>の女の子と保護者の方へ

令和5(2023)年4月より

## 9価の「HPVワクチン」を 公費で接種できるようになりました

「子宮頸がん」で苦しまないために、今からできることがあります



### Q 「HPVワクチン」とはなんですか？

**A** HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンには、9価のワクチンのほかに、2種類のワクチン(2価のワクチン、4価のワクチン)があります。どのワクチンを接種するかは、医師にご相談ください。

### Q 9価のHPVワクチン(9価ワクチン)とは、どのようなワクチンですか？

**A** HPVにはいくつかの種類(型)があり、9価ワクチンは、このうち9種類のHPVの感染を防ぐワクチンです。その中でも、子宮頸がんの原因の80～90%を占める、7種類のHPV<sup>\*</sup>の感染を予防することができます。

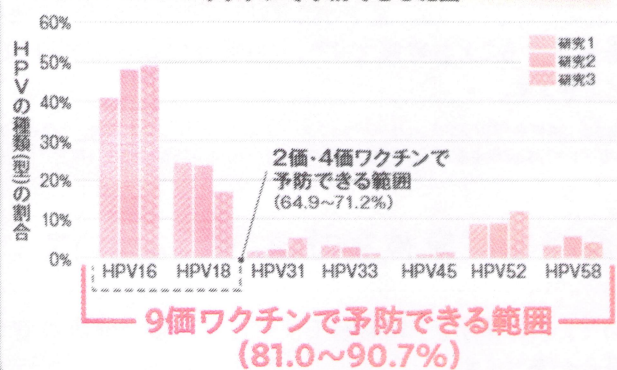
※16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型

### Q 9価ワクチンの接種後に副反応はありますか？

**A** 9価ワクチンの接種後には、右表の副反応が起こることがあります。

接種後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずはワクチンを受けた医療機関などの医師にご相談ください。

日本人女性の子宮頸がんにおけるHPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲



[9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン ファクトシート] (国立感染症研究所) をもとに作成  
研究1: Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316. 研究2: Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917. 研究3: Sakemoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51

接種後に現れる可能性のある症状

発生頻度	報告されている症状
50%以上	疼痛(痛み)*
10～50%未満	腫脹(腫れ)*、紅斑(赤み)*、頭痛
1～10%未満	浮動性めまい(頭がぼーっとしてふらつく感覚)、悪心、下痢、そう痒感(かゆみ)*、発熱、疲労、内出血*など
1%未満	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感(だるさ)、硬結*など
頻度不明	感覚鈍麻(刺激に対して感覚が鈍い状態)、失神、四肢痛など

シルガード<sup>®</sup>9 添付文書(第1版)より改編

\*ワクチンを接種した部位の症状

## あなたと関係のある“がん”があります

- 子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんで亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。日本では、25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は、子宮頸がんによるものです。
- HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されていますが、ワクチンで防げないHPV感染もあります。子宮頸がんを早期に発見し治療するため、20歳になったら、2年に1回、子宮頸がん検診を受けることが大切です。

9価ワクチンについてのより詳しい情報は、こちらをご確認ください。



子宮頸がんやHPVワクチン(2価、4価ワクチンを含む)についてのより詳しい情報は、こちらをご確認ください。



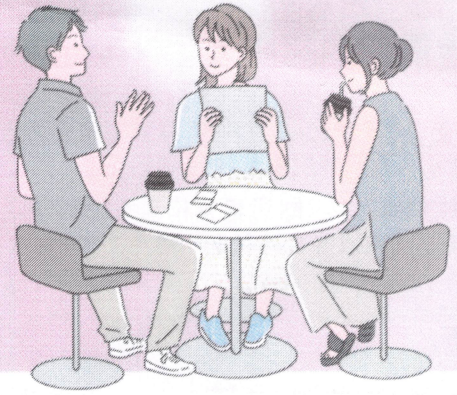


## 平成9年度生まれ～平成18年度生まれの女性へ

令和5(2023)年4月より

# 「HPVワクチン」 の接種の機会を逃した方も 9価のワクチンを公費で 接種できるようになりました

※公費で接種できるのは令和7(2025)年3月末までです。希望される方は、お早めに3回の接種を完了してください。



## Q 「HPVワクチン」とはなんですか？

**A** HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンには、9価のワクチンのほかに、2種類のワクチン(2価のワクチン、4価のワクチン)があります。どのワクチンを接種するかは、医師にご相談ください。

## Q 9価のHPVワクチン(9価ワクチン)とは、どのようなワクチンですか？

**A** HPVにはいくつかの種類(型)があり、9価ワクチンは、このうち9種類のHPVの感染を防ぐワクチンです。中でも、子宮頸がんの原因の80～90%を占める、7種類のHPV※の感染を予防することができます。

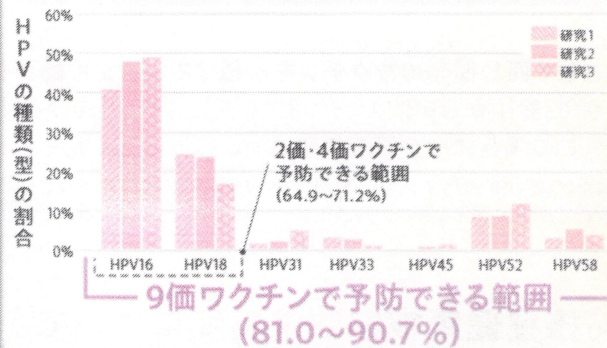
※16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型

## Q 9価ワクチンの接種後に副反応はありますか？

**A** 9価ワクチンの接種後には、右表の副反応が起こることがあります。

接種後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずはワクチンを受けた医療機関などの医師にご相談ください。

日本人女性の子宮頸がんにおけるHPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲



19種ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンファクトシート(国立感染症研究所)をもとに作成  
研究1: Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316. 研究2: Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44 (10): 910-917. 研究3: Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.

接種後に現れる可能性のある症状

発生頻度	報告されている症状
50%以上	疼痛(痛み)*
10～50%未満	腫脹(腫れ)*、紅斑(赤み)*、頭痛
1～10%未満	浮動性めまい(頭がぼーっとしてふらつく感覚)、悪心、下痢、そう痒感(かゆみ)*、発熱、疲労、内出血*など
1%未満	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感(だるさ)、硬結*など
頻度不明	感覚鈍麻(刺激に対して感覚が鈍い状態)、失神、四肢痛など

シルガード®9 添付文書(第1版)より改編

\*ワクチンを接種した部位の症状

## あなたと関係のある“がん”があります

- 子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。日本では、25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は、子宮頸がんによるものです。
- HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されていますが、ワクチンで防げないHPV感染もあります。子宮頸がんを早期に発見し治療するため、20歳以上の方は、2年に1回、子宮頸がん検診を受けることが大切です。

平成9年度生まれ～平成18年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2007年4月1日)の女性の中に、小学校6年から高校1年の頃に、接種の機会を逃した方がいらっしゃいます。まだ接種を受けていない方に、あらためて、HPVワクチンの接種の機会をご提供しています。

9価ワクチンについてのより詳しい情報は、こちらをご確認ください。



詳しい情報は、こちらをご確認ください。



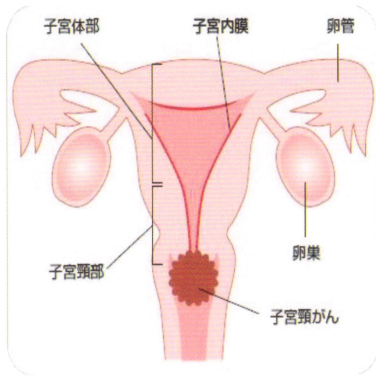


# すべての女性のみなさんへ～たいせつな自分へのプレゼント～

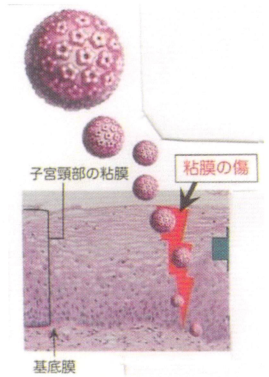
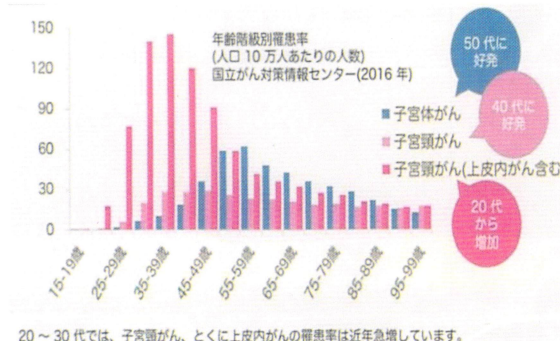
## 子宮頸がんって？

25～44 歳で急増  
年約 1 万人が罹患し約 3 千人が死亡

HPV (ヒトパピローウイルス)



子宮の出口にできる 'がん'



子宮頸がんの原因ウイルス

## HPV ワクチンって？

🌟 メリット ✖ デメリット

ワクチン接種で予防ができる

- 🌟 子宮頸がんの原因になるハイリスク HPV の感染を予防するワクチン (約 70%)
- 🌟 いっしょに尖圭コンジローマの感染の予防もできます。(4 価ワクチン) (約 90%)
- 🌟 HPV は皮膚や粘膜に誰でも持っている弱いウイルスですが、

**ハイリスク HPV が子宮の出口に感染すると一部に異常が起き、さらにその一部が子宮頸がんになります**

↓  
**性交渉で感染リスク上昇・・・> その前にワクチンを打とう♥**

- 🌟 対象年齢は 12～16 歳 (定期予防接種として無料で接種可能)  
ただし平成 9～17 年度生まれの人たちにも キャッチアップ接種 の機会があります。(3 年間—R4.4～R7.3)
- ✖ **ワクチン接種後の副反応が出た場合には専門の医療体制があります。** まずは接種した主治医にご相談下さい。  
(山梨県内専門医療機関：山梨大学医学部附属病院産婦人科)

主な副反応

- 接種直後のふらつき、注射部位の痛み、腫れ、発熱
- 機能的な身体症状 (広範な痛みや様々な身体症状)

↓  
ただし、これらの症状はワクチン接種をしなくても同様の症状を訴える人が同程度存在することからワクチンとの因果関係は不明です。

## 子宮がん検診って？

- 子宮頸がんの早期発見のために行われる検査—子宮の出口の細胞を採取
- **20 歳以降、2 年に 1 回、指定の産婦人科医療機関で受けられます。**  
(住民登録されている市町村から受診券が送られます)

- HPV ワクチン接種と子宮がん検診とで子宮頸がんの 90% 以上の予防が可能です。
- さらに子宮頸がんと診断された方の治療が適切になされると、2070 年には子宮頸がんは排除基準に達します。  
⇒ **子宮頸がんは根絶可能ながん** なのです。
- HPV ワクチンに関する情報は右側の QR コードでもご覧いただけます。



厚生労働省HP 日本産科婦人科学会HP

ご質問、ご心配なことがありましたら接種医、産婦人科医にお気軽にご相談ください

山梨県産婦人科医会